



令和6年9月2日



学校だより

第6号

東京都立田園調布特別支援学校

大田区田園調布 5-43-6

電話 3721-6861

URL: <https://denenchofu-sh.metro.ed.jp/>



2学期が始まりました

校長 川崎 淳子

残暑の厳しさが残る中、今日から2学期が始まりました。

夏季休業中は、家族や友人とどのように過ごしたのでしょうか。今年の夏は、7月26日からパリオリンピックが開催され、日々熱戦が繰り広げられました。寝不足になりながらも夢中で応援した人も多かったのではないのでしょうか。

様々な名場面があった中で、私にとって特に印象に残っているのが、男子バレーボールのフィリップ・ブラン監督の「自分の練習について自分の意見を持ち、議論することが大事」という言葉でした。

最近では、自分も含めてメールやSNS等でのコミュニケーションが増え、意見を直接伝え合う、議論するという場面が少なくなっていると感じています。客観的で効率的に情報伝達ができる反面、実感として捉えるには距離感があるなど感じることもありました。ただ、自分のこととして捉えられなければ、課題の把握や改善策なども浮かんでこない、深い議論もできないのではないかと感じています。

学校も、ベテラン層の退職や働き方改革など、転換の時期を迎えていると言われています。生徒たちにコミュニケーションの大切さを指導している特別支援学校として、私たち教職員も、年度の後半に向けて、教育活動の在り方について改めて整理し、議論を深めていく必要があるのではと考えさせられました。

2学期は、9月から12月まで、1年で最も長い学期になります。1年生は職場見学と移動教室、2年生は現場実習と修学旅行、3年生も、現場実習を踏まえて、進路を決める大事な時期になります。「せせらぎマルシェ」での販売活動など、地域の施設や他校との交流活動も本格的に開始する予定です。

残暑も残る中ですが、健康に留意し、生徒たちが仲間と楽しく充実した学校生活を送れるように教職員一同、尽力してまいります。

保護者の皆様には、個人面談や授業参観、保護者会など来校していただく行事が多数ありますが、2学期も、共に生徒たちを応援し見守っていただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。